**アンケートピックアップ**

**6月12日　株式会社ＡＢＥＪＡ 代表取締役社長　CEO　岡田　陽介　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

ディープラーニング恐るべし。ディープラーニングの仕組みを知って人間の能力をはるかに超える意味が分かった。これは敵うわけがない。ＡＩの動画で最後に音楽をコンポーズしているのがＡＩと聞いた瞬間鳥肌が立った。今後ＡＩの能力が指数関数的に向上するとその波に乗れたか乗れなかったことで差は甚大になると思う。日本人、日本企業がなぜ勉強しないのか。もの売りからこと売りへのキーがＡＩ。本来求める価値を提供できればものは必要とは限らない。今後はまたディープラーニングより新しいテクノロジーが現れると思うと勉強はし続け専門性を複数移動しなければいけなくなる。テクノロジーが進歩すればするほど人間性を見つめなおされる気がした。（都市科学部　環境リスク共生学科　１年）

今までの経営者の方々の講義の中で、一番革新的だなと思いました。私は大学に入る前はビックデータの分析を学んでみたいと思っていましたが、今回のお話を聞いて大学にいる４年間のうちでどんどん世界が変わっていって、卒業のころにビックデータの分析ができますと言っても全く意味がなくなるんだろうなと感じました。私も日本は人材確保に失敗しているという話も聞いてその話を聞いてその通りだと思いました。研究者の管理も給与も待遇も充分なものではないと思うのでこれから改善していったらいいなと感じます。（経営学部　１年）

AIが近年急速に発達してきていることはなんとなく知っていましたが、医療や株式の投資、絵画や作曲などあらゆる分野で活躍していることを今回初めて知りました。同時に、日本がどれだけ他国に比べてAI産業が出遅れていることも知りました。お話を聞いたかんじだと、今後どんな産業においてもAIは参入してくると思います。それに合わせて、私たちはどんな職業に将来つくにしてもAIやテクノロジーの知識をつけていく必要があるなと感じました。売り上げが下がっていく販売モデルではなく、ディープラーニングを利用したサブスクリプションモデルがこれからの販売モデルになっていくというのにはなるほどと思いました。（経営学部　１年）

日本の企業が中国やアメリカの企業と比べて管理の遅れをとっているという事実に危機感を覚えました。また、「物売り→こと売り」という言葉が印象に残りました。「体重計→健康」「TUTAYA→Netflix」という例えがとても分かりやすく、人々が物ではなく結果を求めていて、そのための手段の簡略化が進んでいる様子が分かりました。最近やけに「AI」という言葉を聞くので、なぜこんなにポピュラーになったのかと疑問に思っていましたが、AIが人間の能力（正確性など）を超えるようになったからなのかと納得しました。人間よりも仕事が正確なAIがどんどん人間の仕事場をとっていくことは、人間からしたら仕事場がなくなってしまうデメリットと、便利になっていくメリットとどちらもあるなと感じました。（教育人間科学部音楽学科４年生）

自動運転車がハンドルを操作する際、ただの確率論によって方向や角度が決められているというのはとても衝撃的でした。自分たちの気づかないうちにディープラーニングが溶け込んでいるのだなと感じ、小さなことから世界は変わっていくのだと実感しました。ただ単語やその言葉の概念を知っているだけではなく、それが自らの生活にどのように入り込んでいるか、どのように関わっているのかを知ることで、より興味をもって調べよう、知ろうとすることができるのだと思いました。（経営学部　1年）

「なぜ勉強しないのかという謎」という言葉と、2012年に企業に話をもっていったのに聞いてもらえなかったということがとても印象に残りました。23歳でその行動をおこしたということに驚きましたし、日本が遅れているということに衝撃を受けました。ビジネスモデルが10年後ガラッと変わるということの具体的なイメージを学べました。日本の中小企業がAIを導入するのは経済的に大変だろうと思いました。それを仲介しようと考えた創造性を私も考えていきたいと思いました。「AIに仕事を取られるから将来がこわい」と思ってましたが、社会の仕組みが変わるのが楽しみになりました。(経済学部　1年)

これまでIOT,BIG DATA,AIといったワードは耳にしてきたが、「仕事が奪われる」という印象で学ぶ対象としては避けてきた。しかし、こういった姿勢こそが日本企業の停滞に繋がっているのではないかと考えた。ただ、今私は経営学部に所属していて、「AIを使って何をするか」ということを考える存在を目指さなければならないが、AIやプログラミングについて学ぶということがそのために必要だと思う。そこで質問なのですが、ディープラーニングやプログラミングを独学で学ぶには何をすべきですか。よろしければ上記の連絡先にお答えいただけると嬉しいです。検定試験も受けたいです。（経営学部　1年）

私も以前シンギュラリティの話を勉強したときに、データやコンピュータについても少し学んでいたので今回の授業は楽しく思えた。話の序盤で「犬か猫か」の話があったが、コンピュータの論理的思考が垣間見えて、面白かった。AIの話では、自動車んお自動運転のことも出たが、「確率論的に、その現状で正しい判断をする」ということについて興味を持った。自動運転における事故は誰の、何の責任になるのかと問われることもあるが、そのような点なども含め、人がコントロールできるAIを作っていく必要があると思った。画像認識はこれから、もっと活用されていくと思うし、それによって可能なことも増えていくと思った。　　（経営学部　１年）

アントレプレナーシップが当たり前の上で技術が必要である。Technopreneurshipが大事であることが分かった。ビッグデータは指数関数レベルで増えていくため人では見れず、AIが見る。ディープラーニングのすごさを知った。ディープラーニングのことを知ってAIは人間以上に経験からの勘で答えを出したり、分析したりしていることが分かって驚いた。ディープラーニングによって、なくなったり、変化したりする職業が結構あるなと思った。未来予測することは難しいが今の現実にしっかり向き合うことは誰でもできるということが重要と思った。（経営学部　1年）

「今の現実と向き合うことは誰でもできるが、未来を予測することは難しい」に疑問を抱きました。今の現実と向き合うことは誰でもできるのか、ということです。規模は小さいかもしれませんが、現実とは向き合わずに現実逃避している人はかなりいると思います。そのような人々にとっては今の現実と向き合うことでさえ難しいはずです。だからこそ、未来を予測するのは“難しい”レベルでは終わらないのだと思いました。AIを導入していく国が増えていく中、日本はまだまだその意識が足りないことを知りました。私は日本もすでにロボット等の分野でかなりAIを取り入れている方だと思っていたので、驚きました。人工知能が伝統の味も守ると聞き、新しいものを取り入れるだけではなく、古いものを継承していくことに役立っているのはなかなかないことで、重宝すべきだと思いました。（経済学部　1年）

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

ＡＩを勉強する必要性があるのが本当によく分かったので、これから初歩的な所から始めていきたいと思いました。量子コンピューターについても調べてみたいです。私は文系だから、と考えて今まで触れてこなかったものなので、まずその意識を変えていきたいです。（経営学部　1年）

アプリをダウンロードするときも利用規約などをよく読まずに承認してしまうことが多いのでとても危ないことをしていたなと感じたので気を付けたいと思います。できなかったことができるようになった時がチャンスだという言葉を聞いて今の私たちは人工知能の知識をつけておかなければならないと思いました。（経営学部１年）

ディープラーニングの影響で色々なものが機械化されていくことがわかりました。このように効率性が重視されていくと、心のゆとりを求める人々が必ず増加し再評価されると思います。なので私は人間の内面を取り扱う事業について注目して行きたいです。（経済学部　1年）

**授業スタッフの感想**

今回の講義内容は自分にとってすべて新鮮で面白かった。また、ＡＩが自分の想像以上に発達していて自分の無知を恥じた。これからの社会においてますますテクノロジーは発達して何を考えるにしても何らかの形でＡＩなどが関わってくるので、岡田氏もおっしゃっていたが常に最新のテクノロジーをキャッチアップしこうと思う。手始めに、昨日、WIREDとTechCrunchの記事をいくつか読んでみたが、そこには自分の知らない世界が広がっていて、わくわくしてもっと知りたいと思った。

来週は私が興味を大いにもっている教育についてなのでしっかり講義を拝聴したいと思う。

岡田さんの話を聞いていて、｢この人は現在進行形で世界の進んだ技術や考え方に触れている人だ。｣という印象が1番強く残りました。文系と理系で分けて考えているのは日本くらいで、海外からはバカにされる一因になっているということは衝撃的な事実でした。その事を聞いて、私はAIやディープラーニングのプロにはなれないけれど、使いこなせる知識を持つチャンスは積極的に掴んでいっていいんだと思えました。日本の企業が、新しい技術の大切さに気づかない間に世界に遅れ、中国や欧米に負けジリ貧状態になっているという事実を聞くのはとても辛かったです。この前公演をしてくださったADDSの竹内さんもアメリカと日本の自閉症児療育での差を話していたので、日本にはほかにもまだまだ遅れてい部分があるんだと思います。日本の外に出て客観的に見れる立場になれば、更に冷静に日本の現状や他国との比較ができると思うので、留学や、海外転勤をする人生を歩みたいと改めて感じました。